

DEC. 25
1993

宮城県壮年テニス連盟

会 報 第 16 号

ごあいさつ

委員長 新藤 英雄

この度、委員の任期（3年）を終了し、規約によりまして退任することになりました。この間、2年間を委員長として務めさせて戴きましたでしたが、運営委員、幹事の方々およびクラブ代表委員や会員の皆様のご支援を賜りまして、大過なくその職務が遂行できましたことに対し、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、3年間を振り返ってみますと、3大大会には大勢の会員の皆様が参加してプレーを楽しんでいただけたように思いますし、東北シルバー交流大会は、平成5年度も優勝して、3年連続団体優勝の偉業を成し遂げました。そして平成5年度の子連との対抗戦では、僅差でしたが勝って、2年連続敗戦の汚名をきることなく、内外に底力のある壮年テニス連盟のイメージを与えたことなど、嬉しいことが多かった様に思います。そして、会員数も400名の大台に達しようとしています。これからは、いろいろなことで委員は、苦勞が多いと思います。しかし、委員の喜びは、会員の皆様が、大勢諸行事に参加して、テニスを楽しんでいただくことにあります。ご承知のように、コート確保が困難になりつつあります。明6年度のコートは本年の11月に計画して、12月から市および各種団体との調整作業に入り（大賀幹事）、いろいろとごたごたもあって決まるわけです。したがって、委員は、会員の皆様が、大勢、確保したコートでテニスを楽しんでいただくことを喜びとするわけですが、9月19日の月例会（青葉山公園テニスコート6面）のように参加人員が15名となりますと、コート担当係り（渋谷妙子、坂爪ミヤ両委員）は、諸行事毎のコート準備等のご苦勞の外に、困難な突然の使用コート数変更処理を行わなければならないこととなります。どうぞ、会員の皆様のご理解を賜り、諸行事が盛会に行われますよう、お願い申し上げる次第です。

最後に、当連盟のますますの発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りしてご挨拶といたします。皆様、どうぞ良いお年をお迎え下さい。

※※※

★ 平成5年度後期委員總會報告 ★

平成5年度後期委員總會が12月4日（土）17時より一番丁のグレイス・レイ会議室にて開催されましたので御報告いたします。

◆出席者：新藤委員長

（代表委員）石亀希男 斎藤昭男（五島委員代理）
山本 忠 菅野志津子 酒井倭子 渋谷陽子
飯野 雅（委任） 岡崎幸子（委任）

（運営委員）井沢秀雄 武田満雄 和田武士
渋谷妙子 玉置雪江 坂爪みや 本野日出子
本間満雄

（幹事）高橋龍夫 伊藤一利 大賀延行

◆議 題

委員長挨拶に引き続き、報告及び協議事項の審議

目 次

†ごあいさつ	委員長 新藤英雄	PP 1
†平成5年度後期委員總會	副委員長 本間満雄	1
†対女子連定期戦に参加して	丸山潔	2
†東北シルバー交流大会報告	新藤英雄	3
†東北シルバー交流大会に参加して	斎藤久仁子	3
†対いわきVTC親善試合	奥井紀美子	3
†平成5年度大会記録		4
†平成5年度新入退会者名簿		5
†はつらつ ねんりんの集い	鈴木議一郎 うた子	6
†第7回北京国際パラテニス大会に参加して	室賀 創	7
†ねんりんピック京都	新藤英雄	7
†平成5年度事業報告		8
†室内ダブルスを楽しむ会開催のお知らせ		8
†テニスレクイズ		8

※※※

に入った。

① 報告事項

- i 会員移動：庶務担当運営委員より12月5日現在の会員総数369名（男子217名、女子152名、家族70組）と報告された。
- ii 平成5年度諸競技会：競技担当運営委員より資料（平成5年度競技会）に基づき、競技会実施の状況及び結果について報告された。
- iii 平成5年度収支状況：庶務担当運営委員より資料（収支状況 12月4日現在）に基づき説明が行われ、ほぼ予算通りであることが報告された。
- iv 東北シルバー大会 およびねんりんピックについて：委員長より本年度の東北シルバー大会と“ねんりんピック”の概況及び成績について報告された。特に今年の“ねんりんピック”では、S. U. Cが正式に取り入れられ、選手は「フォールト」「アウト」の2つしか声を出してはいけないと、監督会議で説明され、若干とまどいがあった事が報告された。なお、対いわき親善試合の結果についても同時に報告された。

- v 会報 No. 16の発行について：競技担当運営委員より会報 No. 16を12月25日ごろ発行予定で作業を進めている旨報告された。
- vi その他：“ねんりんピック”の報告の中にあつたS. U. Cとはなにか？との質問が代表委員からあり、委員長より Solo Chair-Umpire の略であることを説明（注：コートの友一アンパイアが1人だけの試合の手順について一参照）、付け加えて、監督会議の席上選手が「ウオッチ」と云う声を出すのも駄目なのかとの疑問が出され、これは差し支えないだろうと云うことになった旨報告された。

② 協議事項

- i 平成6年度役員選出：規約により今期で退任する新藤委員長、井沢運営委員の後任についても、委員総会の席上では特に推薦者なく、平成6年度役員選出については運営委員会に一任と云うこと承認された。
- ii 平成6年度各種行事計画：競技担当幹事より資料（平成6年度宮城県壮年テニス連盟年間行事案）に基づき説明、承認された。

副委員長 本間 満雄

★★ 対女子連定期戦に参加して ★★

丸山 潔

日曜の朝の道は意外に車も少なく、同乗させてもらった久保さんの車は、9時少しまわった頃には庭球場に到着した。コート周辺には既に役員の方々が大大会準備に追われていた。先客の中には花淵さんの顔も見える。三三五五参加者の数も増し、交わす挨拶の声も元気に飛び交うようになった。組み合わせ表をみてきた花淵さんが、私とではなく新藤さんと、私は伊藤さんと組むことになっていることを教えてくれた。対戦表によると、私達はAからFの6ブロックの中のDブロックで、対戦相手は何れも強敵ぞろいの有賀、安藤、和田、広井、それに井沢、渋谷さん等の3組になっていた。9時半すぎから各コートで練習が始まった。私も練習の仲間に入った。久々の土のコートで、いつものコートとは感触が大いに違う。そけに気になる風もある。やがて試合開始の時刻10時が近すぎ、集合の音がかり、コートに男女ネットをはさんで対峙、中条女子連支部長さんの開会挨拶で対抗意識が一段とかきたて

られた。とは言えこの対抗戦は親善が目的で、和やかな中に試合の幕が切って落とされ、それぞれ選手は6ツのコートに散った。

各コート上では随所に日頃鍛えた技と好プレーが展開され、拍手がとんだ。試合終了毎に両軍成績が得点をうめ、気をもませた。伊藤さんと私の組は、対戦相手に平等に勝を譲り、勝点3を献上してしまった。

☆ 女^{おご}には 弱い美点を さらけ出し

☆ 嬉びを 三組にあげた 気の配り

☆ 風と土 我に組せず 勝譲り

コート上に周囲の木立の影が長く伸びるようになった3時には、試合も終了した。両軍勝点集計が終り、男性軍がかろうじて勝った。優勝カップは男性軍新藤代表の手に渡された。勝点集計では29対25の僅差の勝利と報告された。最後は、お互いの健闘を称えあい来期の健闘を約し握手で別れた。

☆ 女子連に 年の差だけの 勝ち拾い
帰りにはお土産の柿と大福をいただいた事を記してペンを擱きます。

第3回 東北シルバーテニス交流大会

宮城県団体三連勝

宮城県団長 新藤英雄

上記交流大会が次のように行われ、選手諸氏の活躍により、宮城県は三連覇の偉業を達成出来ました。個人及び団体の結果を報告いたします。

期日 平成5年 9月 2, 3日

会場 岩手県八幡平ロイヤルホテルテニスコート

人員 東北6県 120名

試合 9月2日 予選リーグ戦

9月3日 順位決定戦

成績

個人 男子60歳以上 優勝 中村、神松組

2位 鈴木、本間組

男子65歳以上 優勝 久保、小野組

8位 多久、岡田組

男子70歳以上 優勝 武田、千葉組

5位 伊藤、新藤組

女子55歳以上 優勝 梅崎、石垣組

2位 斎藤、本間組

女子60歳以上 3位 高橋、武田組

7位 庄司、菊田組

団体 1位 宮城県 99^点

2位 福島県 69.5

3位 岩手県 61.5

4位 青森県 52

5位 秋田県 52

6位 山形県 35.5



★東北シルバーテニス交流大会に参加して★

宮城県女子部監督 斎藤 久仁子

岩手の山々が紅葉にもえ始める9月2, 3日の二日間にわたり、東北シルバーテニス交流大会が八幡平ロイヤルホテルテニスコートで開催されました。

宮城県チームは、男子6チーム、女子4チームが参加して熱戦が繰り広げられました。初日は年齢別のA, Bブロックリーグ戦が行われましたが、年齢を感じさせないカラフルなウェアと軽やかなラケットさばきに、団体戦ならではの応援合戦がくりひろげられ、和気あいあいの中にも緊張感あふれた試合が続きました。熱戦後の懇親会では、美味しいお酒と料理を楽しみながら

から次々に出る余興に拍手喝采がおくられていました。二日目は晴天にめぐまれ決勝トーナメントに入りましたが、宮城県チームは見事優勝し、第一回大会より三連覇を成し遂げることが出来ました。これも新藤団長以下みんなで一致団結して頑張った賜であり、また、度々の練習会に、お忙しいところわざわざ練習の相手をしてくださった役員の方々のおかげによるものと思ひ感謝の念で一杯です。

又、来年の大会参加を楽しみに頑張っていきたいとおもっております。

皆様方本当にご苦労様でした。



★★ 対いわきVTC親善試合 ★★

奥井 紀美子

恒例のこの試合は、今年はいわきの当番で9月25日～26日、ルネッサンス棚倉(福島県棚倉町)で行われました。広い敷地に、ハイカラな建物と立派なスポーツ施設が整い、予想以上の素晴らしい所で、これは女性町長さんの英断で造られたと聞き「あっぱれ！」とますます嬉しくなりました。夫々車に分乗して現地に集合し、午後から自由に練習を楽しみました。(当連盟からの参加者男子7名、女子10名)

コートに戻り汗を流して気分爽快、いよいよ夜の部が始まり、飲む程に賑やかとなり、後半はカラオケで皆さん美声を競い合い、いわきの久野さんの踊りも出初め、最後は何とシャンソン「雪は降る」で締めくく

りました。渋谷さんの呟嗟のアイデアで紙ナプキンをちぎって雪を降らせたのは、なかなかの圧巻でした。さて、翌日の本番、風がありましたが晴天で、和気藹藹の熱戦が繰り広げられ、いわきのベテラン中のベテランの活躍目覚ましく、壮年連盟組は健闘空しく大敗しました。参加者中一番のお姉さんの私など、相手の強いボレーに振り回され通してでしたが、充分に(?)楽しませて頂きました。昨年に引き続きの参加でしたので、顔馴染みの方々と更に親睦を深めることが出来、よい思い出となりました。年を忘れてのテニス三昧、健康あってこそと感謝！。来年度もこの親善試合の盛会であることを願っております。

平成5年度大会記録

平成5年度に開催された各種テニス大会の記録です。宮城県壮年テニス連盟主催の大会記録は三大大会の優勝者です。その他公式戦を含む対外試合については、優勝者および準優勝者を記載しました。会員諸氏の活躍ぶりを年々記録に残してまいりたいと存じます。毎年、後半の会報に掲載予定です。公式戦、非公式戦を問わず、対外試合に出られ何らかの成果を上げられた場合、あるいは、情報を入手された場合には、事務局宛てお知らせくださるようお願い致します。

大会名称	主催 期日 会場	種 目	成績	氏 名
平成5年度 年齢別ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟 5/23 泉総合運動場	女子40歳	優勝	玉置雪枝 増田誓子
		女子45歳	優勝	剣持啓子 安藤伸子
		女子50歳	優勝	洪谷妙子 井沢三幸
		女子60歳	優勝	桜井ノエ 庄司勝子
		男子45歳	優勝	矢田吉明 織田和雄
		男子50歳	優勝	井沢秀雄 柴田賢蔵
		男子55歳	優勝	中村克宏 神松伊三郎
		男子60歳	優勝	本間満雄 山本 忠
		男子65歳	優勝	武田満雄 小野泰祐
		男子70歳	優勝	久保寿一 室賀 創
		平成5年度 技量別ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟 10/11 泉総合運動場	A-クラス
B-クラス	優勝			本間満雄 山本 忠
C-クラス	優勝			佐藤洋子 安藤伸子
D-クラス	優勝			鈴木秀子 水戸てい子
平成5年度 混合ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟 10/17 泉総合運動場	A-クラス	優勝	玉置雪枝 阿部喜則
		B-クラス	優勝	桜沢美恵子 桜沢富男
		C-クラス	優勝	今野ミチ 丸山 潔
宮城県 春期テニストーナメント	宮城県テニス協会 5/3～ 宮城野原庭球場	男子45歳D	優勝	高橋龍夫(川緑衛)
		男子45歳S	準優勝	高橋龍夫
		男子55歳D	優勝	近春雄 井沢秀雄
		男子55歳D	準優勝	有賀吟生 村上実
宮城県 シングルス選手権 県民大会	宮城県テニス協会 泉PTTC	壮年D	優勝	岩月矩之 安田勇
			準優勝	青木興一 (鈴木)
国体テニス競技	宮城県テニス協会 7/3～宮城野原庭球場	成年II部S D	準優勝	高橋龍夫
			優勝	高橋龍夫(川緑)
東北ベテラン テニス選手権大会	東北テニス協会 8/4～酒田市	男子55歳	優勝	高橋龍夫
宮城県テニス選手権	宮城県テニス協会 8/28～宮城野原庭球場	男子45歳S	準優勝	高橋龍夫
		男子45歳D	優勝	高橋龍夫(川緑)
		男子55歳S	優勝	村上実
			準優勝	近晴雄
		男子55歳D	優勝	近晴雄 酒井秀章
		準優勝	村上実(落合)	
ダンロップトーナメント 東北決勝大会	東北テニス協会 11/13～泉PTTC	壮年D	優勝	高橋龍夫(川緑)
家婦連 春期テニス大会	家婦連	A-クラス	準優勝	荒井政子(三浦)
		C-クラス	優勝	水沢愛子(厚井)
秋期テニス大会		クイーンクラス	優勝	神和子(三上)
		A-クラス	優勝	有賀昌子(小松)
		B-クラス	優勝	水沢愛子 荒井昌子
			準優勝	梁田満寿子(田沢)
		クイーンクラス	優勝	神和子(鈴木)
東急レディス IPTC		優勝	洪谷陽子 酒井倭子	
シニアダブルステニス大会	泉PTTC 9/16～泉PTTC	男子70歳	優勝	中村克宏 神松伊三郎
		男子70歳	優勝	武田満雄 多久克夫
		男子70歳	優勝	久保寿一 室賀 創
		男子70歳	優勝	岩月賢一 花淵武雄
		男子70歳	優勝	菅野志津子 八幡順子
		男子70歳	優勝	菊田絢子 庄司勝子
第7回北京国際 ベテランテニス大会	中国北京	男子70歳	準優勝	久保寿一 室賀 創

平成5年度新入会、退会会員名簿

会報15号発行以後次の方々が入退会されましたのでご紹介いたします。会員総数は369名（男子217名、女子152名、家族70組）になりました。なお、年度終了間際に入会されました方が数名いらっしゃいますが、これらの方々は明年1月1日入会扱いとさせていただきます。誤字脱字がありましたら事務局までお知らせ下さい。

月日	氏名
3/31	米本みきよ
3/31	深田達司
4/13	中田舜造
4/22	遊佐多津雄
	郁子
	山村紀美子
5/2	芳賀昭
	木下寿子
5/13	後藤敦子
	早坂史子
5/22	大西晃
5/23	板垣完一
5/23	織田和雄
5/28	南谷裕洋
6/4	大沢澄恵
6/11	米竹裕一郎
	神 和子
	板橋郁子
6/18	阿部秀子
	大槻良子
6/17	相原稔
	阿城子
7/6	高橋 勇
	高橋美紀子
	櫻澤富雄
	櫻澤美恵子
7/8	水沢愛子
	荒井政子
7/23	鈴木謙次
	鈴木秀子
8/12	田中茂子
	高島川江
8/31	安部助治
	喜多子
	日高徹郎
	登志子
	会沢和子
	郷右近勝子
	水戸てい子
9/27	山根一郎
	山根美苗
9/30	原田武雄
	高田寛子
10/6	笹原麗子
10/11	太郎丸浩
10/26	阿部喜則

.....
 会員総数 369名 男子 217名 女子152名 家族70組

*****お願い*****

平成5年度年会費未納の方が若干名いらっしゃいます。内規により、年度内に未納の場合は、自動的に自然退会扱いとさせていただきます。振替用紙を同封いたします。ご利用下さい。納入済みの場合は事務局までご面倒でもお知らせください。早速訂正させていただきます。

* はつらつ ねんりんの集い *

-ねんりんピック'93京都大会に参加して-

仙台市選手 鈴木 議一郎

宮城県選手 鈴木 うた子

10月2日、さわやかな秋空のもと、京都市陸上競技場で行われた総合開会式。八千名の役員・選手団のはつらつとした入場行進-宮城はサン・ファン・パウティスタ号のミニ轎りを振りながら、仙台勢は色鮮やかな七夕飾りを先頭に、颯爽と胸をはっての行進でした。行進を迎えてくれた満員のスタンド!可愛い幼稚園の子供達、小学・中学・高校の生徒達、青年団、町内会、老人クラブの人たち-全ての世代にわたるこんなに大勢の温かい歓迎に胸が熱くなりました。そして、ねんりん(年輪)とは、年齢を重ねることだけではなく、年代、世代間の輪を拡げることでもあると痛感させられました。歓迎アトラクションや集団演技も各世代の人たちが参加し、京都らしさを盛り込んだ、京都府市民みんなが力を合わせ、工夫を凝らして作り上げた素晴らしい開会式でした。

競技場に聳える炬火塔も、澄み切った青空を背景に美しい友禪で着飾り、その裾に点火をすると大きな一枚の友禪が登頂めがけて駆け上がり、花火とともに見事に炬火台に点火リレーを果たした時、さすが京都と特に印象的でした。

テニス交流大会は、10月3、4の両日、向島テニスコートで行われました。参加都道府県政令市59チームを15ブロックにワケて予選リーグを行い、各ブロックの順位ごとグループ(各15チーム)での決勝トーナメントでした。各グループ一位から三位までが団体表彰されます。

試合方法を略記しますと、① 65歳以上男子、60歳以上女子、60歳以上男子の順で実施。② 予選リーグ及びトーナメントのQFまでは4ゲーム先取によるノーアドバンテージ・スコアリング方式で三試合を行う。③ トーナメントのセミファイナルとファイナルは1セットマッチ(6-6 12ポイントタイブレーク)でノーアドバンテージ・スコアリング方式④ 全試合S. C. U制(Solo Chair Umpire)注意事項として、インプレー後、プレーヤーが声を発することが出来るのは、ラインジャッジに関する「フォールト」と「アウト」の二つだけです。それ以外のコールはすべてSCUが行い、プレーヤーには何の権利もない、つまり、プレーヤーはフォールトとアウト

以外の判定とコールを一切やってはいけないということです。例えば「サービス・レット」は、セルフジャッジの試合ではレシーバーがコールすることになっているが、SCUシステムの場合はSCUがコールしない限りサービスレットは成立しません。また、試合中特に厳しいと感じたのはフットフォールの判定です。試合前に「厳しくとりますよ」と注意があり、実際それで失点になったプレーヤーが何人かいました。ふだん気を付けて練習しておかなければと強く感じました。

予選リーグでは宮城・仙台各代表ともに善戦健闘して三位グループに入ることが出来ました。お互いに応援も精一杯で、各選手のプレーに一喜一憂、試合に劣らぬ緊張感の連続でした。宮城・仙台両ブロックとも強豪がおり、全体の決勝順位を見ても、宮城ブロック一位の岡山は、一位グループ(15チーム)で優勝、仙台ブロック一位の福岡市は一位グループで準優勝、二位の大阪府は二位グループで優勝でした。これらの強豪チームとの対戦は貴重な経験としてこれからの自分達のテニスに活かし、少しでも良いテニス出来るようにしたいものだと願っているところです。決勝トーナメントでは本当に惜しいところで勝利を逃してしまいました。次回に期待しています。

ブリジストン所属の福井烈、田村伸也両選手などによるデモンストレーションや楽しいクリニック等もあり、参加者も多く、大変好評でした。「華やかに生き生きと」が歓迎アトラクションのテーマで、集団演技のテーマは「世代を越えて」でしたが、この二つのテーマは、私達がテニスを若い心でできるだけ長く、多くの人たちと楽しく続けていくためにとても大切なことだと今改めて考えています。そして、緊張した試合の後に心なごむお点前をしてくれた和服のお嬢さんたちや、制服をきちんと着て真剣な面持ちでプラカードを掲げながら先導した男子中学生、昼食時に選手たちのリクエストに応じてナツメロや民謡を精一杯演奏してくれた女子高校生たちを含めて、大会を陰で支えて下さった方々と、最後になって申し訳ありませんが、穏やかに忍耐強く選手を励まし、お世話をして下さった新藤・伊藤両監督に感謝の気持ちで一杯です。はつらつと充実した、感動の多い心輝く青春の三日間でした。

「青春とは人生のある時期をいうのではなく、

心の様相をいうのだ」

サミュエル・ウルマン

* 第7回北京国際テニス大会に参加して *

室賀 創

昨年と同様に日本からはテニス協会の佐藤国三郎さんを団長に27名が参加しました。(宮城県壮年テニス連盟からは久保寿一さん、河野郁子さんと私の3人)参加国は概ね昨年と同様の国々でしたが、ルクセンブルクと韓国が不参加で、新たにフランス(VIP)が参加したこと、インドネシアが3組を出場させたのが、目を引きました。

試合方法は昨年通りの年齢別でしたので詳細は省略します。(会報No.14の久保さんの記事参照) 10月23日より4日間コート上で熱戦が展開されましたが、各国ともに参加回数が数回にもおよぶ経験者が多く、顔見知り同志で各所で楽しい交歓が行われ、厳しい試合の中にも和気あいの親善風景が数多く見受けられました。嬉しかったことは、日本選手の善戦で、優勝が3組(男子複A組の小寺、佐藤組、女子複A組の塩野入、深見組、女子複B組の木村、森山組)、準優勝が2組(男子複A組の久保、室賀組、女子複B組の河野、山田組)、6位が1組(VIPの佐藤、木村組)という6組の入賞を果たしたことです。佐藤団長のお話では、過去最高の成績であったとのことであり、日本チーム一同大喜びでした。

なお、大会の合間を見て、中国通訳のご好意で、北京市および近郊の史跡、天安門、故宮博物館、天壇、万里の長城、明の十三陵(定陵)を見学しましたが、広大なため、その一部を見ただけでしたが、感銘深いものがありました。

大会が終り、上海(4名)、成都(8名)、西安(14名)と北京(1名)とに分れて観光旅行に出発しました。私達3人の宮城県組は西安行に参加したので、その報告をいたします。昨年の西安行きは8時間の搭乗待ちのあげくに欠航の憂き目にあったと聞いて心配しておりましたが、無事定刻出発ということで、一同ホッとしました。西安は11の王朝が二千年にわたって都をおいた所で、最も栄えた唐代は長安と

* * * * *

【ねんりんピック'93京都】

新藤 英雄

テニス交流大会は、京都市向島テニスコートで、59都道府県および政令指定都市の選手が参集し熱戦が展開されました。半プロのような選手の参加も多くみられて、ねんりんピックも逐次変わりつつあるような印象をうけました。大会内容の詳細については、ご夫婦で参加されました鈴木会員の手記に記載されておりますので省略いたしまして、全体の結果を表に記してお知らせいたします。

呼ばれ、当時の人口百万人(現在は陝西省の省都で人口三百万人)世界最大の都市といわれ、東西文化を集約した名実共に世界の中心であり、有名なシルクロードの出発点は、此処であった。また、日本および日本人にとっては、安部仲麻呂、弘法大師(空海)など係わりも深く、心躍る旅でした。以下その日程と概略を列記します。

一日目(10月20日)

大雁塔(慈恩寺境内にあり、仏教經典の収蔵目的のもので高さ64米)~空海(弘法大師)記念碑~惠果空海記念堂(青龍寺境内にあり惠果は空海の先生)~兵馬俑博物館(秦の始皇帝の死後を守る人形像の地下軍団)~始皇帝陵墓(約350米四方で高さ14米)

二日目

華清池(玄宗皇帝と楊貴妃が愛の日々を送った所で、中国では珍しい温泉がある。また、近くには蒋介石が張学良に軟禁され国共合作の源となった西安事件の現場となった兵煉亭もある。)~碑林博物館(約三千点の石碑・石刻が集合し、漢字のお手本ここにありの感がある)~小雁塔(薦福寺境内にあり、名僧義浄がインドから持ち帰った經典収蔵のためのもので高さ33米)

三日目

西安城壁(中国に現存する古代城壁では、唯一の完全なもので、周囲11.9キロ米、高さ12米、底部の幅15~18米、頂部の幅12~14米)~安部仲麻呂の記念碑(遣唐使に従って長安にきた留学生で、最難関の進士の試験に合格し、唐王朝の官吏となった。小倉百人一首の歌人)~中国歌劇観賞

10月30日、思い出深い各国との心暖まる交流と観光の旅を終えて帰路についた。その一片を知りえたのみであるが、中国は日本の26倍という広大な国土、12億の人口と悠久三千年の歴史を持つ国であり、今後も度々訪れたい魅力溢れる国であると痛感させられた。

* * * * *

決勝トーナメント戦(SF、Fは1セットマッチ6-6ゲーム制)ノード

	優勝	準優勝	3位
1位グループ	岡山県	福岡市	山口県、静岡県
2位グループ	大阪府	奈良県	横浜市、北海道
3位グループ	熊本県	福島県	滋賀県、京都府
4位グループ	石川県	札幌市	島根県、富山県

